

2011年度 第1回中央委員会

～京交の更なる発展を誓い、決意も新たに新年度がスタート～



駅務支部

ボラン
ティ
ア

日常生活の足元から見つめ直そう。」と挨拶に立つと、東日本大震災で被災した地域のために若い力を



烏丸線乗務支部



物品カンパに対する御礼を述べる大西英樹青年女性委員長

管理が疎かになり、不調を訴える組合員が出ています。地域の足を守る公営交通に従事する我々にとって、健康管



挨拶に立つ瀬戸高志執行委員長



京交



本局支部

三回定期大会の予備討議も兼ねていたことから熱心な討議が行われ、新年度最初



梅津支部

また、二十二年に開催される京交の八十

の立場でお客様を味方につける運動が実行されていることを全体の拍手で確認



東西線乗務支部

報告が



電整支部

成、最後に、第八十三回定



自整支部

活動にの対して、の激励に交通の平局の平成二十二年



京都交通労働組合

電話(075)841-0948

発行者 瀬戸高志

編集者 佐田 悟

各種委員会レジメ

2011.8.9
壬生操車場会議室

第1回 執行委員会

報告事項

- 都市交関係
 - 都市交青年女性委員会「第8回海外交流」への参加について (別紙)
 - 都市交青年女性委員会海外交流「物販カンパ」について (別紙)
 - 公務員連絡会全国統一行動の実施について (別紙)
 - 定年延長を巡る状況について (別紙)
- 対局関係
 - 特定割引定期券に係る不具合について (別紙)
 - 「京の七夕列車」&「京の七夕ハッピーバス」のPRについて (別紙)
 - 「京のスマイルプロジェクト」の開催について (別紙)
- その他

議案事項

- 2011年度予算の暫定執行について (別紙)
- その他

2011.8.23
壬生操車場会議室

第2回 執行委員会

報告事項

- 9月日程について (別紙)
- 都市交関係
 - 「9.19さよなら原発全国集会」への参加について (別紙)
 - 都市交2011年夏季・秋季の取り組み方針について (別紙)
- 対局関係
 - 国民文化祭・京都2011に関する取り組みについて (別紙)
 - 第14回醍醐車庫見学会について (別紙)
- 解放共闘関係
 - 幹事会報告について (別紙)
- その他
 - 梅津支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 自整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 烏丸線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 駅務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 電整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 本局支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 第83回定期大会に係る諸役員について (別紙)

議案事項

- 2010年度第四半期会計決算並びに監査報告について (別冊)
- 第83回定期大会に係る議案事項について (別冊)
- 役員・委員任務要綱の一部改正について (別紙)
- 職員処遇規則の一部改正について (別紙)
- 組合書記の雇用契約更新について (別紙)
- 電整支部エンパワメントプランについて (別紙)
- その他

2011.8.25
アークホテル京都

第1回 中央委員会

執行委員長あいさつ

報告事項

- 9月日程について (別紙)
- 都市交関係
 - 「9.19さよなら原発全国集会」への参加について (別紙)
 - 都市交2011年夏季・秋季の取り組み方針について (別紙)
- 対局関係
 - 国民文化祭・京都2011に関する取り組みについて (別紙)
 - 第14回醍醐車庫見学会について (別紙)
- 解放共闘関係
 - 幹事会報告について (別紙)
- その他
 - 梅津支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 自整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 烏丸線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 駅務支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 電整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 本局支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)
 - 第83回定期大会に係る諸役員について (別紙)

議案事項

- 2010年度第四半期会計決算並びに監査報告について (別冊)
- 第83回定期大会に係る議案事項について (別冊)
- 役員・委員任務要綱の一部改正について (別紙)
- 職員処遇規則の一部改正について (別紙)
- 組合書記の雇用契約更新について (別紙)
- その他

一面

・2011年度
第1回中央委員会

・各種委員会レジメ

・今月の言葉

・お知らせ

二面

・京交エンパワメントプラン
三面

・被爆66周年原水爆禁止
世界大会 広島

・連合東日本大震災
ボランティア活動に参加して

・連合
～未来に希望が持てる暮らし
がしたいいまこそ、最低賃金
の引き上げを～

・壬生の今

四面

・クロスワードパズル

・都夢ちゃんのひとり言

・Fromみぶ

・教宣部員のつづやき

・おまけ

第83回 定期大会議案書



とき/2011年9月22日 ところ/京都ロイヤルホテル&スパ
京都交通労働組合

お知らせ

来る九月二十二日(木)、京都ロイヤルホテル&スパに於いて向こう一年間の運動方針を決定する京交第八十三回定期大会が午前九時三十分から開催されます。

京交組合員の皆さんはじめ、各支部を代表する代議員の皆さん、役員の皆さん大会成功に向けてご協力お願いします。

今月の言葉

益者三友、損者三友

立派な友人に恵まれるのは人生の幸の一つである。その人物を知ろうとするなら、つき合っている友人を見ればよいと語っている人もいるから、友人を選ぶにはよほど慎重を期したほうがよいのかもしれない。

では、どんな相手を友人に選ぶべきか。「友を選ばば書を読み、六分の俠気、四分の熱」とうたったのは歌人の与謝野鉄幹であるが、孔子のアドバイスはこれと比べるとはるかに現実的である。孔子は、つき合っている友人が三(益者三友)、ためにならない友が三(損者三友)あるとして、こう語っている。

「直を友とし、諒を友とし、多聞を友とするは益なり。便辟を友とし、善柔を友とし、便佞を友とするは損なり」

ためになる友人とは①剛直な人、②誠実な人、③教養のある人である。逆に、ためにならない友人とは①易きにつく人、②人ざわりばかりよい人、③口先だけうまい人という。

～節電に取り組む中、お客様に爽快感を～

in 電車部



馬 務 支 部

～事故ゼロに向けて～

梅津支部では二〇一一年七月の一ヶ月間エンパワメント活動として事故研修DVDの視聴とミーティングによる事故防止運動に取り組まされた。約一ヶ月間（一日二回×一〇回）の開催で、組合員の半数である八〇名を超える人数が参加し、事故防止の関心の高いDVDの視聴では頭では解っているけれども実践できてない事を再認識。ミーティングでは先輩からのアドバイス、後輩からの質問など。まじめな話を和気あいあいとすることができました。その中で今回一番多く出たキーワードは「車間距離」でした。組合員の「意見を集約すると」本来に為になった、事故の怖さが分かった」、「改めて自分の癖が分かった」、「予測・予見運転をしていきたい」、「十分な車間距離を取っての運転に心がけたい」等々、事故防止意識の向上に大変効果があったようです。また、このような取り組みを「毎年してもらいたい」、「これからも機会があれば続けてもらいたい」という前向きな声を多数いただき、一ヶ月間に及ぶエンパワメント活動を無事終えましました。

～青年女性委員会 怒涛の勢いで活動～

清掃活動

ご利用有難うございますと路線図を配布

青年組合員の笑顔は魅力です

A black and white photograph showing two elderly women in traditional Japanese clothing (kimono and haori) sweeping a street with brooms. They are walking along a sidewalk next to a road where a car is visible in the background.

テキパキゴミを拾いました

バス停は私たちの顔です

隅から隅まで綺麗に拭きました

被爆六十六周年原水爆禁止世界大会 広島

核も戦争もない平和な二十一世紀に！

八月四日から三日間の日程で「核も戦争もない平和な二十一世紀に！」原水禁六十六広島大会が開催されました。初日の四日は、全国から集まった参加者による折鶴平和行進からはじまり、猛暑の中、広島市中区の平和記念公園を出発し、核兵器廃絶・世界恒久平和などを訴えながら会場まで行進しました。今大会は、米国の原爆投下から六十六年となります。しかし、三月十一日の津波により破壊された福島第一原発事故後の大会となり、核と人間が共存できるのか問われる大会となりました。主催者はもとより各会各層の挨拶の中には、世界的にも未曾有の災害となった東日本大震災でお亡くなりになった方々の冥福と、今なお避難生活を余儀なくされている方々へのお見舞いの言葉が添えられ、会場参加者全員で黙祷が捧げられるなど昨年以上の祈りに包まれた大会となりました。二日目は分科会が広島市内一円で行われ、脱原子力をテーマにした分科会に参加しました。当初参加者四〇〇人の募集に、五〇〇人を超える参加者で会場は溢れんばかりとなり、原発事故以来の脱原発に対する関心の高さが伺えました。分科会の中で西尾原水禁副議長は、



誰もが手を合わす原爆ドーム

「東日本大震災は想定外の人災であり、拡がる放射能汚染が行方不明者の捜索、罹災者の救援に支障が出ている」などの報告がされ、脱原発＝早急なエネルギー政策の見直しが必要との見解が述べられました。三日目は、広島が祈り一色となる平和記念公園に向

き、午前八時十五分に平和の鐘が鳴らされると同時に、黙祷を捧げました。式典の中で松井広島市長から、「普段通りに生活していた六十六年前の八月六日、朝八時十五分に一発の原子爆弾がそれまでの生活の根拠を破壊しました。被爆者は様々な体験を通じて、原爆で犠牲になった方々の声や思いを胸に核兵器のない世界を願い、毎日を懸命に生きておられます」平和宣言が述べられました。三月十一日に発生した東日本大震災の惨状は、十六年前の広島を彷彿させるものであり、安全でクリーンなエネルギーを供給すると信じてきた原子力発電所の事故による放射能の脅威は、多くの人々を不安に陥れています。政府は早急にエネルギー政策を見直し具体的な対応策を講じるべきではないでしょうか。過去に「安全神話」がもろくも崩れた「食の安全」などは風化しつつあります。私たちは「安全」を最優先にあたりまえの毎日を過ごしていますが、時には職場や家庭で「安全」について語り合ってみるの必要ではないかと思



世界から届けられた折鶴

平和への想いは万国共通(平和の鐘)



猛暑の中での「折鶴行進」

「脱原子力」をテーマにした分科会に参加しました。当初参加者四〇〇人の募集に、五〇〇人を超える参加者で会場は溢れんばかりとなり、原発事故以来の脱原発に対する関心の高さが伺えました。分科会の中で西尾原水禁副議長は、



分科会の様子

書記次長 田中 直人
電車部長 伴野 敏之

連台 東日本大震災 ボランティア活動に参加して

ボランティアに行くこと決まってきたから、現地に着くまでずっと不安な気持ちで一杯だった。震災が起った時から、何か自分出来ることは無いのかと考えていたが、まさか自分自身がボランティア活動に参加するとは思っていません。思ったより、参加するにあたり、体力的な問題もそうだが、被災地を見てどう感じるのか、現地の人とどう接したらいいのか、そんなことばかり考えていた。実際作業に入ると、そんな不安はすぐに払拭された。一日の作業目標はきつに決まっていたし、一緒に作業をする仲間もいるし、装備も完璧だ。一番驚いたことは、現地の人たちはとても元気で、明るくて前向きで話もよくしてくれた。地震、津波の恐ろしさや、家族を亡くされたつらい話も耳にしたが、最後にはご苦労様、疲れのいないようにと気遣いの言葉を掛けていた。嬉しそうな笑顔と、ボランティアセンターから作業現場まで移動しているとき、明らかに津波の境目があって景色が一変する。流された家や車等はおおかた片付いているが、今の時期は雑草が多く、その隙間から沢山の瓦礫や家の基礎が見え、片付けが開始されると、雑草取りが遠くなるような作業だ。今回の作業は小さな重機があれば早く終わるような作業が多かったが、個人の家までは回ってこないらしく、ボランティアの協力が必要だ。必要である。一人の力では出来ないことも皆で協力すれば必ず達成できることと、そして、多くの人の協力でボランティアが成立していることをすごく感じました。ボランティア活動に参加してとても貴重な経験が出来ました。この機会を与えてもらったことに感謝し、これからもいろいろな側面から復興に携わっていききたいと思



素麺の差し入れを美味しくいただきました

当初、ボランティア活動に正直行くべきかどうか迷いました。なぜなら、体は大きいですが環境の変化に順応する力が弱いので、乗り物酔いも結構なもので作業すること以前で憂鬱になったからです。もちろん放射能も心配で無かったかと言えはウソになります。でも、同じ日本の国民が困っているこの時期に、微力でも自分が役に立つということ、何という理由かは、「期待されている」ということで気持ちよく自分から手を挙げました。現地(気仙沼)には、JR総連など5つの産別から集まっていたのですが、少し話を伺ってみると、ほとんどが自ら名乗り出た方達ばかりで、中には複数回(六回の猛暑も)の方もおられて憧れの眼差しで見えていました。そして、損保に勤めている女性の方も一人参加されていて、どうして参加することにしたのかと「地震保険で、お金自分自身、体が張ってお手伝いがしたい」との理由で応募したとのことでした。実際、作業場所に行ってみると匂いなどは予想に反して気にならなかったのですが、火事で焼けたままの建物、傾いている建物、津波で一階部分がまるまる抜けてしまった建物、そして、空き地にはガレキの山がまだまだ多く残されています。心が折れそうになりました。皆さんにも一度、現場を見てもらえるとかをしなければいけないと思うのでしようが、もう個々の力ではどうにもならないところにあるような集めた瓦礫を処理しようにも、放射能を懸念して他県が引き取ってくれないとか、京都でもあったように送り火に陸前高田の薪を使わないという自分勝手な気持ちで少し横に置いて、日本は「ひとつ」なんだというのを理解して実践すれば復興も早まるのでは無いかと思



津波の怖さを思い知った一場面

電整支部 山本 勇

壬生の今

外観だけではわかりませんが、建物の中は大きな工事音が響いています。



8月30日現在の様子

連合京都は、二〇一一年八月三日(水)十八時十五分から「生活できる最低賃金を求める街頭行動」として、四条河原町周辺に於いてチラシ・ティッシュの配布行動並びに街頭演説を実施しました。最低賃金の現状や政労使で確認された内容、そして、今年の中最低賃金審議会で示された目安などとともに、労働側の代表として、京都府最低賃金審議会に臨む連合京都の決意を訴えました。



・・・配布行動に精を出す山本自動車副部長・・・



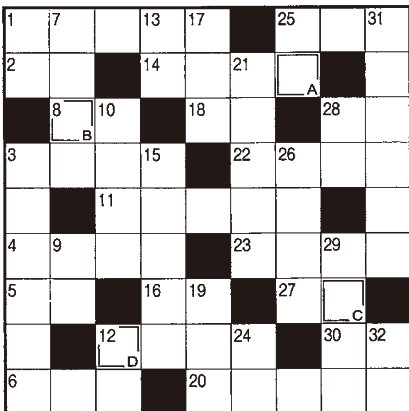
～訴える北岡ちはる府議会議員～



連合

脳を鍛える 超難解クロスワードパズル

頑張って挑戦しよう!



「ヨコのカギ」

- 1 バターを、日本語で言うとかげがえのないこと
2 降り積もった雪が激しい風で乱れ飛ぶ現象。ブリザード
3 生気にあふれ、明るく元気な様子
4 子
5 神仏などを絶対的に信じ、その力にすぎること
6 神奈川県横須賀市の地名。ペリ来航の地として知られる。旗竿などの先端に付けられる滑車のこと
7 英国を代表する小説家の一人。「都物語」「クリスマス・キャロル」結婚によってできる親戚。配偶者の父母兄弟など
8 伊豆諸島の名産品くさやの材料としてよく使われる魚
9 陽画のこと
10 桶に似ているが蓋がある
11 カレイ目の魚類。木の葉のような形をしていて、体の左側に眼がある。靴底魚ともいわれる
12 主に食後に用いる小型のコーヒーカップ
13 ヒーカップ
14 これが見つかったと、調査や推理は前進する
15 山口県東部にあたる旧国名
16 種子ではなく胞子で増える。コケと異なり維管束を持つ
17 ケが身を助けるほどの不幸せ
18 川の瀬に簀を張って、魚を捕えるしかけ

「クロスワードパズル」のコーナーです。ちよつと一息一頭の体操してみませんか? AからDまでの四文字を順に並べて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは九月二十七日(火)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で!

「タテのカギ」

- 1 守秘——能力
3 舞楽や能などという展開の三分
7 児童福祉を行う国連の機関。一九六五年ノーベル平和賞を受賞
9 とも柱とも頼む
10 京都市中京区にある。新撰組ゆかりの地として有名
12 幼虫が毛織物を食害するガの一種
13 糖蜜から造る蒸留酒
15 純粋で混じりものがない
17 稲が植えつけられる前の田
19 と閻魔は
21 パスタのゆで加減としてよく言われる、歯ごたえのある食感
24 の歯が欠けたよう
25 雲——彫り 鼻——
26 果物のこと
28 必要な活字がないとき、ありあわせの活字を逆さに入れておくこと。刷られると「三」と出る
29 メダカに似た外来魚。グッピーは——科の魚
31 京都の知恩院の廊下のものが有名。歩くとき音がする
32 マキを割るときなどに用いられる

クロスワードパズル
京交604号解答

■答えは「フウリヨク」

キ	ブ	ロ	ス	ダイ	ギ	シ
バ	ラ	ク	スキ	イ	モ	ザ
ド	サイ	ン	ボ	ジ	ラ	カ
ル	タ	ウ	キ	バ	チ	フ
シ	タ	ウ	キ	バ	チ	フ
ツ	ヨ	ウ	キ	バ	チ	フ
ク	ン	ウ	キ	バ	チ	フ

多数のご応募ありがとうございます

当選者氏名(敬称略)
全国百貨店共通商品券
長崎 秀二(電整支部)
岡本 真二(電整支部)
有園 幸之助(西賀茂支部)

都夢ちゃんのひとり言

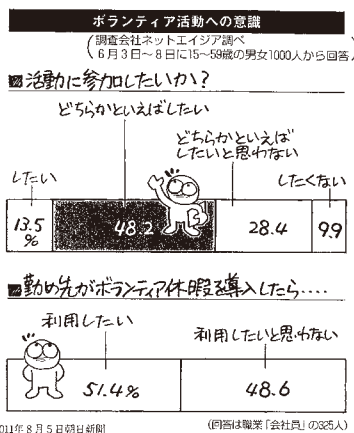


大震災の津波で
巨大氷山が誕生
欧州宇宙機関(ESA、本部パリ)は八月九日、東日本大震災に伴う津波が約一万三〇〇〇キロ離れた南極の棚氷を破壊し、巨大な氷山が誕生したと発表した。ESAの環境観測衛星「エンビサット」の画像で米航空宇宙局(NASA)のチームが確認し、ジャーナル・オブ・グレイシオロジー誌(電子版)に公表した。氷山が誕生したのは南緯七十七度、西経一四八度にあるスルツバギー棚氷で、震災後の画像で棚氷の一部が破壊され、氷山となってロス海を漂流しているのが確認された。確認された氷山は、最大のものが縦九・五キロ、横六・五キロで、面積はJRR山手線の内側に匹敵し、厚さは八〇メートルと推定されている。

ボランティア参加派は六割

背景に変化した「公」の意識

七月末までに約六十二万人。東日本大震災の被災地ボランティアに参加した延べ人数だ(全国社会福祉協議会調べ)。また調査会社ネットエイジアが六月に全国の男女を対象に行った調査でも、約六割がボランティア活動をしたと答えている。これらの背景にあるのは、大災害が続く人びとの「公」の意識が変化してきたということ。個人、団体、企業とさまざまな形で復興支援が続けられている。息の長い活動を期待したい。



教宣部員のつぶやき



「暑い!暑い!」が口癖になる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか? そんな暑い中、今年も熱くなるイベントに参加したいと思ひ挑戦してきました。その名は「二十四時間リレーマラソン」ただひたすら走ってきました。こんな時期に走ることを馬鹿にする人もいるかもしれませんが、実際に走ってみると本当に馬鹿でした。一周一・七kmのコースをチームでリレーしながら延々と走るんですが、舞洲からの海の景色を見ながら爽やかに走れたのは一週目だけで、後は暑さと靴擦れと筋肉痛との闘いでした。間違いないトレーニング不足で情けなかつたです。周回を重ねるごとにメンバーの疲れや痛みも溜まり体力的にきつい時間帯もありましたが、その都度みんなで声を掛け合い、チームで気持ちを盛り上げて走ることができました。そんな中、浴衣や着ぐるみなどで仮装して走る人もおり、大会をいっそう華やかに演出してくれました。最後はどのチームも関係なく沿道で応援している人たちがハイタッチで迎えてくれて、感動のチェッカーを切ることもできました。順位はちょうど真ん中くらいの順番でしたが、順位に関係なく我々寄せ集めの素人集団が全員で力を合わせて走り切ったということに意義があったと思います。この夏の暑さ以上に僕たちの気持ちの方が熱かったということです! この熱い気持ちを胸に仕事も頑張ります!!



チームワークで走りきりました

中島健太郎

おまけ・・・関西でおなじみのハモ・・・

関西の食文化でなくてはならないのがハモです。どう猛な顔つきに似合わずあつさりした白身魚でまさに今が旬。ハモの旨味、香りがたまります。かむを意味する噛む(ハム)がなまってハモになったとか。それとこの魚は骨が多いのが特徴です。皮半分まで切り込みを入れないと骨が口当たりです。開いたハモは背びれなどいたるところに骨がありますから取り除き、上身にして細かく切っていきます。「ハモ切り」といって骨切り用の特別の包丁があります。泉州や淡路の名物玉ネギが甘みを増す夏場は「ハモすき」が一番です。だし汁で炊いて食べます。だし汁に玉ネギを入れて軟らかくなるまで煮込み、ハモを入れて食べます。ハモのうまみと玉ネギの甘みがたまります。骨切りしたものを湯通しにした「ハモちり」はまさに大阪の味。梅肉や酢味噌で食べます。よく冷やした

器に野菜と一緒に盛ってお好みのドレッシングをかけてサラダもクルビズに最適。ハモの照り焼きも代表的な料理法です。ウナギと違ってあつさりしています。最近ではイタリアンの料理人にも人気があります。魚を余すところなく使う大阪の儉約の精神は、ハモの利用にも生きています。ハモがよくとれた昭和四〇年ごろまでは身はすり身にして焼かまぼこを作りました。「ハモざく」といって、皮は焼いたものが販売されており、細かく刻んだキュウリとあわせて酢の物にします。ミョウガともよく合います。他にも天ぷらやフライ、皮や胃袋を使った煮ごりなど、さまざまなハモ料理が楽しめます。ハモは祭りが終わると値段も落ち着きます。まだまだ旨みがたっぷりですから、ハモ料理を堪能し、暑さを乗切っていたいただきたいものです。